



## 輸送サービス労組への悪宣伝と支配介入による 不当労働行為を直ちに止め、健全な職場環境を求める緊急申し入れ

7/11 八地申第29号

輸送サービス労組八王子地本はこの間、不当労働行為の是正を求め団体交渉を行ってきました。しかしながら、職場では今もなお一部管理者から脱退を条件にした利益誘導や高圧的なパワハラ発言が平然と行われる等、人格を否定する行為が後を絶ちません。

今回、**立川営業統括センター所長（立川駅長）**が輸送サービス労組組合員に対して発言した



「組合は土足でプライベートに入ってくる」  
「会社に叛旗を翻すような人たちが組織している組合」  
「最終的に会社に人事権があるから面倒をみる。  
組合は面倒をみない」

輸送サービス  
労組への悪宣伝

「俺が環境を変えるから早まるな。非現業に転勤  
させれば馬鹿な事を考えないか？」  
「取引するつもりないけど、わだかまりを持って  
働いて欲しくないから裏方の仕事をさせる。  
手を回して」

利益誘導による  
脱退勧奨

「マスター（駅長）にこう言われたと分会長に相談するんだろ？  
一字一句はやめてくれよな。その辺は上手いことやってくれ」  
「力になるからこっちは考え直せ。それ言ったら途端にアウト  
だからな、俺は」

不当労働行為を  
自覚した上  
での発言

### 上記の発言は到底許されるものではなく、明確なコンプライアンス違反です

以上のような一部管理者からのパワハラ発言・不当労働行為を直ちに止め、安全で安心して働くことができる風通しの良い職場環境を構築する為に、下記の通り申し入れを行いました。

#### 申し入れ項目

- 再三教育をしているにも関わらず立川営業統括センター所長（立川駅長）が不当労働行為を行ったことに対する支社としての見解を明らかにすること。  
また、輸送サービス労組への悪宣伝と支配介入による不当労働行為を直ちに止めること。

健全で働きやすい職場環境を取り戻すため、諦める事なく声をあげ続けます